

## 評価基準達成に向けた時間帯別利用者数の目安

- ◆実際のバス利用においては、時間帯毎に利用者数の比重が異なる。(朝のラッシュ時に利用者が多く、昼間や夜間は利用者が少ないなど)
- ◆そのため、現在の路線毎の時間帯別利用者数の比重に基づく、評価基準達成に向けた時間帯別利用者数の目安を以下にお示しする。

### 箕面中央線（新稲系統）の評価基準の目安

	評価基準 【1便あたりの利用者数】	時間帯	評価基準達成に向けた 時間帯別利用者数の目安
早急に路線の 見直しを検討	<b>約18人/便 (収支率 60%)</b>	朝	約25人/便
		昼	約15人/便
		夕	約17人/便
		夜	—
運行頻度の 減便を検討	<b>約24人/便 (収支率 80%)</b>	朝	約33人/便
		昼	約20人/便
		夕	約23人/便
		夜	—
本格運行へ移行	<b>約30人/便 (収支率 100%)</b>	朝	約42人/便
		昼	約25人/便
		夕	約29人/便
		夜	—
サービスレベルの 向上を検討	<b>約60人/便 (収支率 200%)</b>	朝	約83人/便
		昼	約50人/便
		夕	約46人/便
		夜	—

※原則として上記基準に基づき評価を行うが、運行エリアが重複する箕面中央線、(仮)箕面小野原線を含むエリア全体での利用実態に応じて、サービスレベルの調整を行う可能性がある。